



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2013～2014 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「楽しい時(例会)が素晴らしい人生(ロータリー)を創る」

◆会長 山本 辰男 ◆幹事 中田 専太郎 ◆会報委員長 前越 路子 ◆会報担当 中田 学

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 995 回	51 名	50 名	39 名	—	78.00%
前々回 993 回	51 名	50 名	41 名	2 名	82.00%

<点 鐘> 会長 山本 辰男
<ロータリーソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 山本 辰男

大変重くて、この時間に一寸話すにははばかるのですが、東日本大震災から、今日でちょうど丸3年がたちました。政府はもとより各方面から援助の手が差し伸べられていますが、



復興道半ばというところでしょうか。災害の死者は1万5千人余り、いまだ行方不明者が2千6百人余り、災害関連死は3千人達する勢いです。改めまして心からのご冥福と、そして声援を送りたいと思います。

いまだに濁流が陸地を飲み込んでいく映像が思い出され、あちこちで炎が上がる映像が浮かびます。原発の作業員の引きつった顔が眼に焼付いています。ここにきましてさすがに瓦礫自体はきれいになってきましたが、不自由な仮設住宅住まい、ふるさとを離れての家族ばらばらの生活など、戻ってきたくても、災害地の街づくりの青写真もできていないところもあるようです。更なる復興の加速を願うものです。

最近の調査で、震災直後は、家庭での食料の備蓄や懐中電灯・ガスボンベ・電池など備えるパーセントが高かったのですが、またぐんと減ってきたみたいです。

この辺は、さすがに津波は来ませんが、周りを火山に囲まれ、地面の下には断層が走り、送電線や道が寸断する恐れが大変あります。先日もあの雪だけで数日間、陸の孤島化した集落が多数有りました。

災害は忘れたころにやって来るとのことわざ通り、ぜひ備えあれば憂いなしにして頂きますようお願いいたします。

今日は会員スピーチ第2弾です。お話ししていただける方の仕事観・人生観・ロータリー観が良くわかります。その方の感性に触れることができます。大変楽しみに聞かせていただきます、今日は新宮委員長自らのスピーチもあります。良い見本をよろしく願います。

<幹事報告> 幹事 中田 専太郎

◎国際ロータリー第2630地区ガバナー事務所より

- ・バギオだより
- ・ガバナー月信掲載記事協力をお願い
- ・第2520地区山田RCより「やまだの作文・第42集」
- ・ロータリーバンド演奏会出演者募集のご案内

日時：6月7日(土)10:00～

会場：桑名市民会館

○高山西ロータリークラブより

- ・例会休会のお知らせ
- 3月21日(金)法定休日のため休会



<会員スピーチ>

高橋 厚生

皆様、つたない話にお付き合いいただきしたいと思います。今日は、

- 会社の沿革
- 本人略歴
- 建設業界について

などの話をさせていただき、最後に私の好きな建設業界についてお話しさせていただきます。

建設業界は、今でも体育会系な部分があり必要とされる時、喜々として体の動く人が多いと感じます。建設業は、地域のいたるところが現場となり、地元の方々とふれあいの中で仕事をします。現場近隣の方はもちろん通学中の学生さんや観光客、散歩途中の人など、仕事をしていると興味深そうに見ていかれます。時に安全を重視するあまり、厳しい言葉をかけ、注意せざるを得ない場合がありますが、

一方で地域特有の情報などを聞かせていただけるのも、不特定の場所で仕事をする醍醐味に感じます。弊社は、数年前より高山市以外、岐阜県外などでも仕事をさせていただく機会が増えてきました。その土地々のお話を聞かせていただきながらの地元の方（協力業者の方なども）との協同作業は、新しい発見もあり社員の成長はもとより、私自身も楽しく勉強させていただいております。これからの建設業は、物を作るのみでなく地域を守る役目が重要視されてくると思います。防災事業や環境事業など、決して他地域の会社や大手ゼネコンにはできない地域密着の企業にこそできる地域の皆様に必要とされる企業であるよう努力していかなければ、と思っています。今後ともご指導、ご鞭撻よろしくお願ひいたします。



新宮 一郎

今年で私も還暦ですし会社も今年で61期ということで60年間を振り返ってという事でスピーチをさせていただきます。

私の商売は、父と母が戦後、始めた商売で、当初は片原町において毛糸とか生地を扱い販売していました。着物から洋服へと移っていく時代の波にのり高山では初の洋装店としての商売を始めました。父はこだわりがあり美術品が大好きでしたので布地もイタリー・フランス物など舶来品の生地にも魅了され、こだわったということで高級品ではありましたが他にはなかったということで大変繁盛していたみたいです。

私は姉が2人で末っ子の長男ということで、全く貧弱でボーっとした背だけは高い軟弱な子供でした。ファッションに興味を持ったのは姉の影響を受け小学校高学年でVANというブランドが大好きな少年でした。

中学の頃は坊主頭になるのがいやでした。身長が高かったということでバスケットに専念していました。練習は大嫌いでしたが試合になるとどういわけかポイントゲッターで中3の進路の時に岐阜の高校からスカウトされまし

たが高校までバスケットはやりたくないと思ひ受験に専念した思ひ出があります。次に興味を持ったのが写真でキャノンの一眼レフに没頭し、高校に入学後は山の写真が撮りたくて地味な山岳部に入り好きな写真で楽しんでいました。卒業後同窓会で知ったのですがその斐太高校の山岳部は部活の中で唯一インターハイに出場していたみたいです。そんな高校生でしたが、3年の時全国の写真コンクールで入賞をしてからは全く山にもカメラにも興味が薄れてしまい最近になって老後の楽しみにと思うくらいです。大学に入ってからは何の目的もなくボーと過ごしていましたがファッションや女性にやっと思ひ目覚め、同じ大学で今の女房と出会い卒業後結婚しました。目標もなく実家を継ぐという決意もなく過ごしていましたが、好きなファッションの専門学校があることを知り、目標ができ、大学4年間の単位を2年でほとんど取ることができ、3年4年はファッション学校に専念することができました。その後就職後、高山に戻り家業を継ぐことになりました。頑なにオーダーにこだわった商売を続けていた父と母ですが時代は既製品へと移っておりまして、東京にいた頃のネットワークと当店の信用のお陰で流行りの海外の一流ブランドを取り揃えた店へと変貌することができました。バブルの波にも乗り郊外に出店等しました。バブル崩壊後は小売業にとっては厳しい時代でしたが、10年ほど前からはネット販売へと事業展開をし、子供達も手伝ってくれ、何とか商売を続けております。



<ニコニコBOX>

想定内と言え、やはり思ひがけない「雪」となりました。年度末の総会等も多いと思ひますが皆様、コンディションを整えお臨み下さい。
理事役員一同

真冬に戻りました。温度の変化に気を付け、健康管理をしましょう。本日、岐阜出張にて早退します。

足立 常孝

ここのヶ月位夜になると熱が出ていましたがやっと思ひ治まりました。
三枝 祥一

本日3月10日無事35回目の結婚記念日を迎える事が出来ました事に感謝して。
新井 信秀